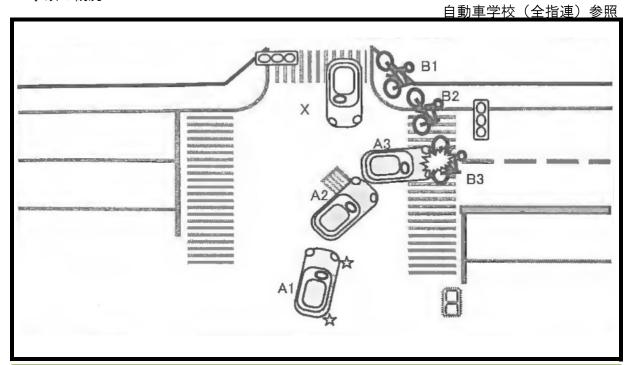
## ■事故の概況



事故類型:出会い頭

発生日時:4月 午後10時頃 曇り(明るい)

当事者A:普通乗用車 30歳代 男性

当事者B:自転車 20歳代 男性

## ■ 事故の概要

Aは、交差点を右折するため、青信号で交差点中央まで進み、対向車Xをやり過ごすため停止し、対向車Xが通り過ぎたので青信号を確認して、対向車線方向に注意しながら発進し、右折しました。交差点出口の横断歩道直前で、左から横断歩道を渡り始めたB自転車に気づき、急ブレーキを掛けたが、間に合わず衝突しました。

Bは、暗いのでライトを点灯して交差点に接近し、青信号だったのでそのまま横断しようと考えて、対向右折車のA車を交差点中央付近で発見しましたが、相手からもこちらが見えているだろうと軽く考え、さらに、こちらは横断歩道上という優先意識もあり、そのまま横断歩道に進入し、衝突しました。

## ■ 事故から学ぶ

右折道路側の横断歩道を通過する際は、特に横断歩道直前では徐行、停止するなどして 左右の横断者の有無を確認するべきです。信号交差点での右折は確認すべき対象が多い上、 今回のように対向直進車をやり過ごしたということがA車運転者の油断を助長させたとも 考えられます。

Bは、自分から相手が見えるからといって必ずしも相手が自分を見ているとは限らないことを認識する必要があります。しかも、夜間であるのでなおさらです。また、横断歩道上を自転車を運転して通行することはルール違反であることを理解し、相手の動向をよく見て横断することが大切です。